

**若年脳損傷者の実態をより正確に把握するため、県の調査関係機関と支える会「しなの」のメンバーとが一堂に会して、実態調査推進会議を開催します。**

3月20日から実施している若年脳損傷者の支援に向けた実態調査の進行状況を関係者が共通認識した上で、より多くの対象者の皆様に実態調査へ御協力をいただくための課題を整理し、今後の方法を検討するため、実態調査推進会議を開催します。

**1 日 時**

平成18年(2006年)5月12日(金) 午後12時30分から4時まで

**2 場 所**

J A 長野県厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター三才山病院 講堂

**3 参加者(約70名)**

(1) 調査協力機関(約30人)

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター、同三才山病院(約10人)

若年脳損傷者を支える会 しなの(約20人)

独立行政法人 自動車事故対策機構 長野支所、長野県音楽療法士会

(2) 長野県(約40人)

澤田祐介副知事、社会部長、衛生部長、保健所長、地方事務所及び保健所担当

チームリーダー、若年脳損傷支援チームメンバー

**4 次 第**

(1) 交流(昼食会)(12:30~13:30)

「しなの」との交流

(音楽療法セッション映像紹介、自動車事故対策機構からの説明等)

(2) 講演(13:30~14:15)

講師 J A 長野県厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

センター長 小林俊夫 先生 ~ 調査対象者を理解するために~

(3) 会 議 ( 14:30 ~ 16:00 )

- ア 副知事あいさつ
- イ 実態調査の進捗状況について
- ウ 調査票回収の課題と今後の対応について
- エ 訪問調査について
- オ その他

**5 取材の際の留意事項**

(1) 会議の公開

副知事のあいさつまで公開です。

(2) 交流（昼食会）の取材

交流（昼食会）には、「しなの」の会員である脳損傷の当事者の方も出席されますので、交流会の取材をする場合は、事前に「しなの」に取材の承諾を取ってください。

しなの連絡先 E-mail : ueno2338@brown.plala.or.jp

若年脳損傷支援チーム

(事務局:社会部 commons 福祉チーム、福祉健康政策チーム)

担 当 松本有司、藤木秀明

電 話 026-235-7093 (直通)

026-232-0111 (内線 2318)

F A X 026-235-7485

E-mail fukushi-seisaku@pref.nagano.jp

## 実 態 調 査 の 概 要

- 1 調査目的 脳損傷により「植物症（植物状態）」等と診断され、後遺障害として重度の身体障害と知的障害を重複して持たれている方々に対しても、早期に適正なりハビリ等を行うことにより状態が改善されることなどが分ってきていますが、後遺障害をお持ちの方々の実態把握が十分とはいえないことから、現状の福祉・医療サービスの仕組みも十分なものとはなっていません。  
そこで、実態やニーズを的確に把握し、今後の支援策の検討に資するものとしします。
- 2 調査対象 脳損傷によって後遺障害を持ち、病院、社会福祉施設、自律学校等に入院（所）、通学等している方及び在宅で生活している方（介護保険の適応後に脳損傷を受けた方は、今回の調査対象から除かれます。）
- 3 回答方法 ご家族等主たる介護者に調査票に記入していただき、専用の返信用封筒により郵送で提出してください。（電子メールによる提出も可能です。）
- 4 その他 調査票は、最寄りの地方事務所地域福祉チーム、保健所、市町村、病院又は入所施設にあります。次の県ホームページからもダウンロードできます。  
( <http://www.pref.nagano.jp/syakai/comofuku/jakunen/jakunen.htm> )